

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 27 週分・6 月 30 日～7 月 6 日)

■今週の主な動向

○伝染性紅斑の報告が多い状況が続いています。

伝染性紅斑の報告数は先週とほぼ同数で、第 15 週から警報開始基準値（2.0 人/定点）を超えた状況が続いています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので注意が必要です（[第 17 週インフォメーション参照](#)）。

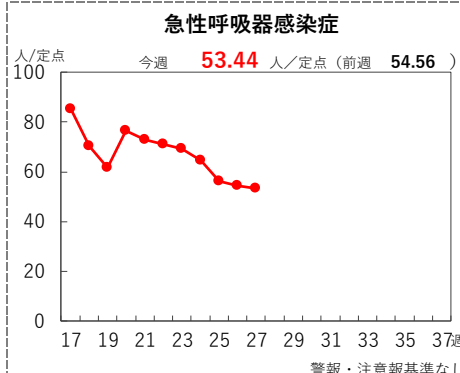
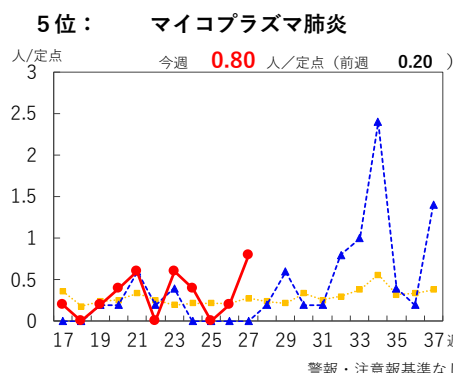
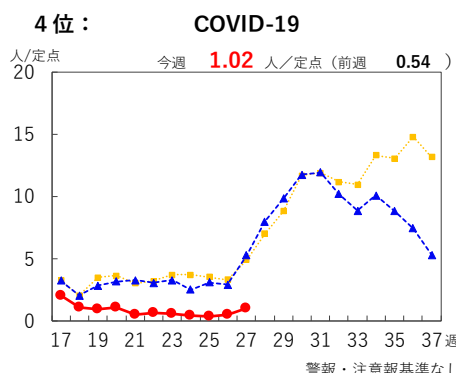
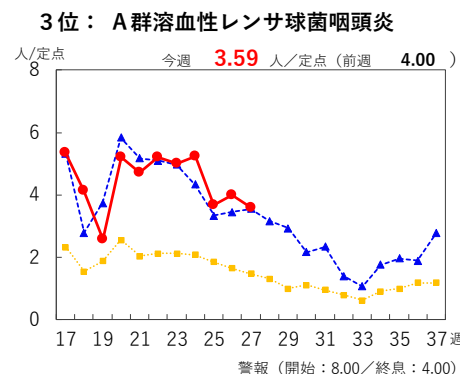
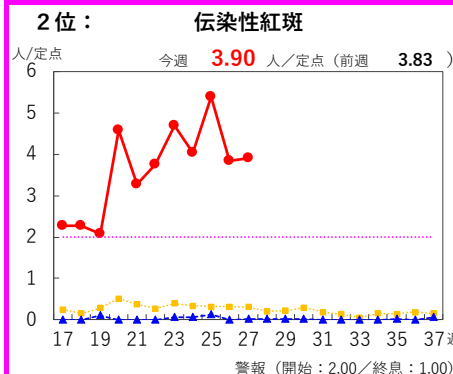
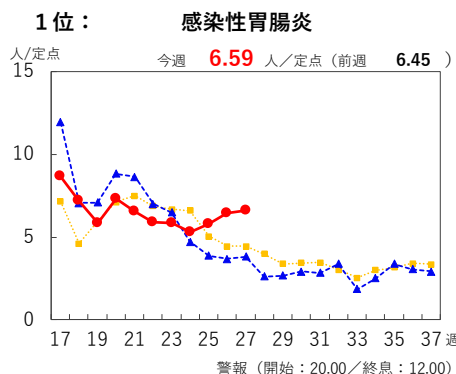
○百日咳の患者が今週 31 例（2025 年累積 433 例）報告されました。

10～14 歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。乳児（特に新生児や乳児早期）では重症化しやすいことから、同居する家族からの感染には注意が必要です（[第 23 週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 27 週・6/30～7/6）

警報



—●— 現在 —▲— 前年 —■— 過去10年平均 —●— 警報 —●— 注意報 —●— 流行

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1 件（60 歳代、男性）

四類感染症 レジオネラ症 1 件（80 歳代、男性、肺炎型）

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 3 件（①第 15 週診断分：70 歳代、男性 ②10 歳未満、女性 ③50 歳代、女性）

百日咳 35 件（①～④全て第 26 週診断分 ①10 歳未満、男性 ②10 歳未満、女性

③10 歳代、男性 ④50 歳代、女性 ⑤～⑦全て 10 歳未満、男性

⑧～⑬全て 10 歳未満、女性 ⑭～⑲全て 10 歳代、男性 ⑲～⑳全て 10 歳代、女性

㉓40 歳代、女性 ㉔50 歳代、女性 ㉕60 歳代、女性）



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通）

HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



全国で感染者数が増加しています 今こそストップ梅毒！

《 インフォメーション 》

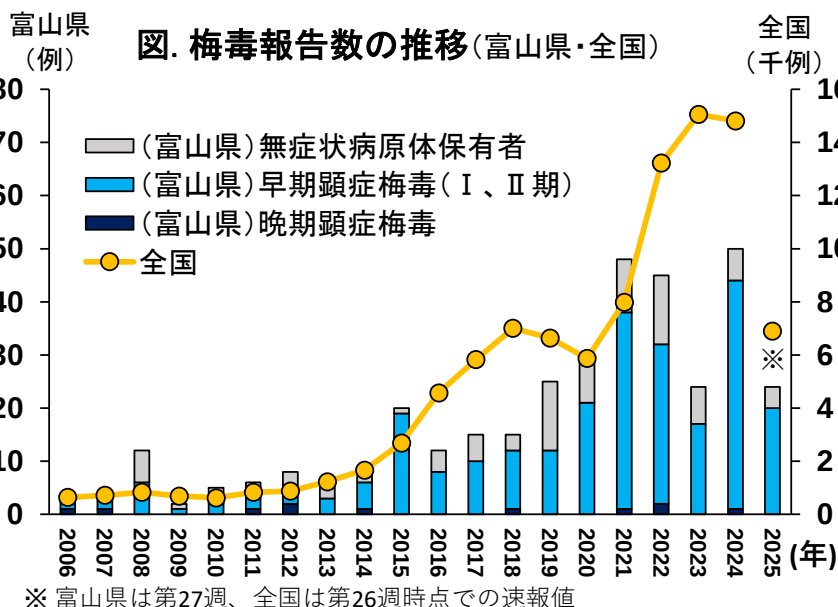
●梅毒

梅毒は、梅毒トレポネーマ（細菌）を原因とする感染症です。主に、感染者との性的接触によって感染します。梅毒トレポネーマが粘膜や皮膚に感染すると、数週間の潜伏期間を経て、感染部位にしこりや潰瘍が現れます（早期顕症梅毒Ⅰ期）。数週間～数か月経過すると、手のひらや足の裏、全身に発疹が現れます（早期顕症梅毒Ⅱ期）。無治療の場合、症状が消えても感染力は残っています。数年～数十年後に、皮膚や骨のゴム腫や心血管系梅毒や晩期神経梅毒を呈し、致命的となることがあります（晩期顕症梅毒）。また、妊娠中に感染すると胎盤を通じて胎児へ感染し、流産や死産、先天梅毒が起こります。

全国の梅毒患者報告数は 2011 年頃から増加傾向にあり、2022 年以降は年間 13,000 例を超える報告がされています。2025 年第 26 週時点では既に 6,890 例が報告されています（図：折れ線グラフ）。なかでも先天梅毒は 2023 年に 37 例、2024 年に 30 例が報告されており、2025 年は第 26 週時点で既に 22 例が報告されています。

一方、富山県の報告数は 2024 年に 50 例と感染症法施行以降最多となりました（図：棒グラフ）。2025 年は第 27 週時点で 24 例（男性：20～50 歳代 13 例、60 歳代 2 例、70 歳代 1 例、女性：30～50 歳代 8 例）が報告されており、早期顕症梅毒（Ⅰ、Ⅱ期）の割合が約 8 割（20/24）と高くなっています。未だに基本的な感染対策は不十分と思われます。

梅毒は主にペニシリン系抗菌薬による治療が可能です。梅毒の初期症状である性器の潰瘍など、異変に気づいた場合には早めに医療機関を受診しましょう。パートナーも感染の可能性があるため、受診をお勧めします。感染予防として、不特定多数との性行為を避けること、適切にコンドームを使用することが有効です。また、先天梅毒を防ぐために、妊娠が分かったら妊婦健診を受けましょう。妊娠中に少しでも心当たりや疑わしい症状があった際は医療機関を受診し、早期検査、早期治療を受けましょう。梅毒の検査は、保健所、厚生センターでも匿名で受けることができます。（[富山県梅毒、クラミジア検査 HP](#)）



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第27週 2025年6月30日～2025年7月6日）

分類		疾患	今週報告分（第27週）					累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）							
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核			1			1	5	1	10	6	31	53	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1	4		7	5	18	34	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1			2	
	四類感染症	E型肝炎									3			3	
		A型肝炎								1	1			2	
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）									1			1	
		デング熱									1			1	
		レジオネラ症					1	1		1	2	1	6	10	
	五類感染症	アเมอร์バ赤痢									1			1	2
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4			5	9
		急性脳炎									1	1			2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2		4	7	
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1	
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6	
		侵襲性肺炎球菌感染症					2	2	5		8	3	14	30	
		水痘（入院例）							1		1			2	
		梅毒							2	1	3			17	24
		百日咳	1	12	9	1	8	31	21	98	89	17	208	433	
		風しん											1		1
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	226 32.29	196 39.20	884 68.00	156 22.29	1,103 68.94	2,565 53.44	4,035	3,686	14,147	3,182	17,375	42,425		
	インフルエンザ			1 0.08	1 0.14		2 0.04	928	857	1,650	976	1,877	6,288		
	COVID-19	15 2.14	6 1.20	6 0.46	13 1.86	9 0.56	49 1.02	860	343	945	648	822	3,618		
	R Sウイルス感染症					2 0.20	2 0.07	28	24	111	37	183	383		
小児科定点（29定点）	咽頭結膜熱		1 0.33	10 1.25		7 0.70	18 0.62	59	27	235	3	68	392		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 1.00	4 1.33	40 5.00	1 0.25	55 5.50	104 3.59	113	220	1,220	164	1,671	3,388		
	感染性胃腸炎	30 7.50	19 6.33	24 3.00	11 2.75	107 10.70	191 6.59	755	532	1,329	439	3,440	6,495		
	水痘	2 0.50	11 3.67	2 0.25		6 0.60	21 0.72	5	52	31	16	248	352		
	手足口病			1 0.13	2 0.50	2 0.20	5 0.17	2	2	25	5	17	51		
	伝染性紅斑	6 1.50	18 6.00	22 2.75	10 2.50	57 5.70	113 3.90	68	202	540	86	774	1,670		
	突発性発しん			4 0.50	1 0.25	3 0.30	8 0.28	3	12	75	20	67	177		
	ヘルパンギーナ			1 0.13		2 0.20	3 0.10	17	1	11	1	19	49		
	流行性耳下腺炎				1 0.25	1 0.10	2 0.07	2	8	6	8	14	38		
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99	
		流行性角結膜炎			2 1.00		2 0.29		1		17	1	2	21	
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1	
		無菌性髄膜炎										1		1	
		マイコプラズマ肺炎	1 1.00	1 1.00	2 2.00		4 0.80		16	8	21	17	4	66	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5			5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242		
	COVID-19による入院患者	1				2	3	76	68	52	113	191	500		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。